

中学校 外国語科（英語）学習指導案

指導者 瀬戸口 茂久

日 時	平成 28 年 10 月 15 日（土） 第 2 限（10:35～11:25）
場 所	第 4 研修室
学年・組	中学校 3 年 C 組 40 人（男子 20 人，女子 20 人）
単 元	Lesson 5 Places to Go and Things to Do (New Crown English Series 3 三省堂)
目 標	1. 与えられた情報から取捨選択し，必要な情報を読み取る。（外国語理解の能力） 2. 自分の考えを論理的な英文で書く。（外国語表現の能力） 3. 自分の考えや事実を読み手に正しく伝える。（外国語表現の能力）

指導計画（全 7 時間）

- 第一次 教科書本文の内容や言語材料を理解する。 2 時間
- 第二次 教科書を活用しながら，論理的な英文の書き方を学ぶ。 2 時間
- 第三次 与えられた情報を取捨選択し，目的に応じた読みを行う。 1 時間
読み取った情報をもとに，相手を意識した論理的な英文を書く。 2 時間（本時 1 / 2）

授業について

本課は「行ってみたい場所とそこでしたいこと」について，3 人の生徒が意見を述べている（Part 1～3）。発展的な学習の場として Part 3 に続き USE-Read セクション（生徒のスピーチ原稿 [3 段落構成，257 words]）と USE-Speak セクションが用意されている。USE-Speak セクションでは行ってみたい場所についてスピーチを行う活動がテキストでは提案されているが，今回は本研究大会のテーマと絡め，他者との話し合いを通じて，多くの情報から取捨選択しながら最終的な意見を述べる（書く）活動にした。

本年度は授業冒頭で『基礎英語 3』をテキストとして，聞き取り活動，内容に関する Q&A，テキスト内の題材をもとに自分の意見を述べる，ペアでのスピーキング活動を取り混ぜながら帯活動として行っている。また，各学期に 1～2 度程度，比較的長い英文を書く活動を，グループ学習を通じて行うように目標を設定した。1 学期は教科書の落語のテキストを，客観的な物語文に書きかえる作業を行った。その際，実際の英語落語の映像を視聴させ，教科書には述べられていない箇所も加え，まとまったストーリーを仕上げることを目標とした。本授業は 2 学期に行う，書く活動の 1 つである。

本クラスの生徒は，聞き取る力，読み取る力については比較的高い力を有しているが，表現する力については，まだ指導の余地が多い。特に書くことに関しては，1 学期を通して意欲的に参加するようになってきたものの，まとまりのある文章や，読み手を意識した英文をつくるためにはこれから十分時間をかけて指導していく必要があると感じている。そこで 2 学期は，読み手を意識したまとまりのある英文が書けるようになることを大きな目標の 1 つに設定した。

題 目 協同的学習を取り入れた深い学びを目指す授業

本時の指導目標

- 1. 与えられた情報から必要な情報を取捨選択し，目的に応じて読み取る。
(外国語理解の能力)
- 2. 読み取った情報をもとに，読み手を意識した論理的な英文を書く。
(外国語表現の能力)

本時の評価規準（観点／方法）

1. 多くの情報から取捨選択し，必要な情報を整理できる。（外国語理解の能力／ワークシート）
2. 情報を整理しまとめ，首尾一貫した意見述べることができる。

（外国語表現の能力／ワークシート）

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
<p>帯活動 1 Dictation Q&A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を書き取る ・ 理由や具体例などと共に自分の意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音のつながりやメッセージに注目させる。 ・ まとまりのある英文を意識させる。（プラス 1 or 2 sentences）
<p>本時活動 1 グループ活動 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの情報から必要な情報を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成する英文の目的を意識させる。（何のために書くのか。誰が読者であるのか等） ・ 辞書を積極的に活用させる。
<p>本時活動 2 グループ活動 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを通して情報を整理する。 ・ 論理的な英文を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手を意識した英文を作成するように促す。 ・ 論理的な英文の構造や展開とはどのようなものであったかを注意喚起する。 ・ 質問があれば支援する。
<p>発表&フィードバック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループが他のグループの作品と比べながら振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手を意識した英文という視点を意識させ，内容面，構造面で振り返ることを促す。
<p>備考</p>		